

令和5年10月4日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称… グループホーム あしたか

サービス種類… 認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 5 年 10 月 3 日

開催場所… 特別養護老人ホーム東寿苑 訓練室

出席者

事業所	2人	利用者	0人
利用者家族	0人	地域代表者	3人
松江市職員	1人	包括支援センター	0人
知見を有する者	1人	その他	0人

議事

- ・会議の最初に、グループホームあしたかを管轄する所長が、憩いデイの田邊所長から和み館の柴田所長に変更になったことの報告を行う。

### 1. あしたかの現状報告

#### ◎ 利用者状況

7/23、8/5に2名入所。

R5年10月3日現在利用状況

介護1・・・4名 介護2・・・2名 介護3・・・2名 介護4・・・1名 介護5・・・0名

平均介護度・・・2.0

待機者数 男性3名 女性13名

#### ◎ 活動状況

7/18 海辺ドライブ

8/9、9/13 体重測定

8/4、9/6 習字

8/23 散髪

8/18 お茶会

9/26 コロナ注射7回目 利用者全員と職員数名が接種

9/27 敬老会

クラブ活動はコロナウイルスの影響で中止

◎ 事故 0件

◎ インシデント 1件 8/29 13:00 と 16:00 裏口ドアの開く音がして見に行くと外に出ておられ、声かけする。再度出られいつもと違い迷っておられ中へ誘導。  
本日 10/3 の朝 7 時に裏口から出られた。対策として裏口にセンサーを設置することになる。

◎ 入院 0件

◎ 救急搬送 0件

## 2. 研修状況

◎部署内研修 スタッフ会にて

7月 脱水と熱中症を防ぐための活動 腸管出血性大腸菌(0157等)感染症の注意  
8月 BPSD に対する薬物療法の進め方  
9月 接遇改善

◎ホーム研修

7/19、20、21、24、26 食中毒予防および蔓延防止 9名  
8/21、23、24、30 看取りケア 6名

◎その他

介護福祉士実務者研修

8/7、10、21、24、28、30  
9/4、9、16で終了

## 3. 会議報告

・令和5年度第1回あしたか身体拘束廃止委員会 R5.5.23

A様について、5月23日に安来第一病院に入院。薬の調整を行われるが、どのような状態で退院されるのかまだ予測がつかない。退院されてまもなくは注意深い様子観察が必要。

3要件(切迫性、非代替性、一時性)の再確認

・令和5年度第2回あしたか身体拘束廃止委員会 R5.8.22

B様について、今のところ勝手に玄関から外に出られることはないが、職員との関係性が悪くなると外に出たいという欲求が強く出てくるとも限らない。そうなってくると玄関の鍵をかけようなど拘束につながるかもしれないので、今後も時には散歩に付き合ったりも行い、信頼関係の構築に努めていく。

身体拘束に当たる具体的な行為の再確認

研修 「具体的な行為ごとの工夫のポイント(身体拘束ゼロへの手引きより)」

- ・令和5年度第1回あしたか虐待防止検討委員会 R5.6.22  
あしたか虐待防止検討委員会の実施回数について、ホームとあわせて年4回とする。  
虐待を発見した時の対応の確認
- ・令和5年度第2回あしたか虐待防止検討委員会 R5.9.20  
5つの虐待の定義を再確認する。身体拘束と虐待は密接につながっていることを確認する。  
令和5年度あしたか虐待防止委員会 研修1回目「不適切なケアや高齢者虐待とストレス」  
介護従事者のほとんどが何らかのストレスを抱えており、そのストレスが引き金となって虐待が起こるケースも少なくない。まずはそのことを認識しておくこと。

#### 4. 行事予定

コロナウイルスの影響により、クラブ活動、外出を当面中止といたします。

10/13ドライブ、習字、散髪、お茶会

ドライブの運転は東寿苑デいの職員に頼むこととなる。

#### 5. 研修予定

◎法人研修

10/4 感染症対策 サラヤさん来苑 4名参加予定 他の職員はDVDによる視聴

#### 6. 実習受け入れ

9/20～22 湖東中 体験学習

9/19～21 東出雲中 体験学習

#### 7. その他

現在新型コロナウイルス対策としまして、面会は事前予約としており、AM1組、PM1組とし、15～20分程度、事務所にて会って頂きます。

皆様方には大変ご不便をおかけしておりますが、何とぞご協力のほどよろしく願いいたします。

※ただし、受診の方はご協力のほどよろしく願いいたします。

#### 8. 意見交換

- ・インシデントの方は鍵は自分で開けられるか(知見を有する者)。  
→裏口は鍵をかけておらず、ドアノブを回して開けられる。窓は鍵は外せるが下ロックは外せない。今後ホールの窓から出ることも予測され、注意が必要(ホーム長)。

- 外に出るのには何か目的があるか(地域代表者)。
- 1 番は帰宅願望。運動をしたいというのものもあるが、強いのは帰宅願望の方(計画作成担当者)。
- 声をかけると「嫌〜」「ついてこないで」と職員が付き添うのを拒まれる。男性の職員だと付き添いを受け入れて下さる(ホーム長)。
- 自分が声をかけるときはそれほど抵抗を示されることがないので、少し待ってと伝えたら待ってください。これが効かなくなると大変かも(計画作成担当者)。
- 身体拘束の会議で信頼関係の構築のことを話されているが、その通りだと思う(地域代表者)。
- 午前中はまだバタバタされないが、昼食後に昼寝をされずホールに出てこられ、ウロウロされ始める(ホーム長)。
- 1 日のスケジュールを把握してもらおう意味でも、日記を書いて読んでもらうなどはできないか(地域代表者)。
- 字を書いたりされない方なので、日記は難しいかも(ホーム長)。
- これといった趣味を持っていないので手持ち無沙汰になることが多く、余計に外に出たいという意識が強く働くのかも(計画作成担当者)。
- 洗濯物たたみも最初は良かったが、次第に興味を持たれなくなった(ホーム長)。
- 参考になるかわからないが、私の体験談で、私の施設の前のイスにはだしの男が座っていて、どうも施設の入居者だったらしく、職員さんが連れ戻しに来たが、その男の方は嫌だと大の字になられ、職員は正論を言うがどんどん興奮され、〇〇さんが迎えに来ると言ったら手が出るようになり、最終的には車で帰られたが、職員に〇〇さんとはどういう方か聞いてみたら、1 番気に入っている職員とのことだった。多分〇〇さんには知られたくなかったのだと思う(知見を有する者)。
- 失態を知られたくなかったのでしょうか(ホーム長)。
- 職員は焦るが、相手のことを考える必要がある。今回の方に当てはまるかわからないが、離脱され連れ戻そうと思った時に、1 番気に入られている人の名前を出すのは逆効果になるかも(知見を有する者)。
- 私の父の話になるが、認知症で家にも「木を切らないけん」と外に出ようになり、家族にも怒るようになった。施設に入居してから穏やかになった。外出を止めようと思ったら拘束はいけませんが、ある程度の力は必要になるかも(地域代表者)。
- この方は難聴の方ですか(地域代表者)。
- 右耳はほとんど聞こえず、左耳は補聴器をしている(ホーム長)。
- 10 年くらい前に難聴になられたと記憶している。補聴器の扱いも手馴れている(計画作成担当者)。
- 難聴の方は大きな声でないと聞こえず、それが怒られていると感じることがある。そのあたりの配慮も必要かも(地域代表者)。
- 本人も声が大きく、周囲の方が迷惑することがある(ホーム長)。
- 何かタイマーを設置して、これが鳴るまで待ってとかできないか(地域代表者)。
- 危ない行動を防ぐ意味でも取り入れてみてもいいかも(ホーム長)。

・身体拘束会議の A 様について、現在の対応はどうなっているか(市職員)

- この会議が実施されたのが 5/23 と少し前のことで、結局このご利用者は入院中に退所となっ

た(計画作成担当者)。

→では会議で話されたことは起きていないか(市職員)。

→そうです(計画作成担当者)。

→B様についての対応はどうか(市職員)。

→B様というのが先程から話し合っているインシデントの方で、会議を行ったのが8/22で、その時点では一人で外に出ることはなかったが、インシデントが起きたのが8/29なので、センサー設置の対応はしているが、今後も注意は必要(計画作成担当者)。

→身体拘束について、身体拘束をするときの家族様の反応はどのようなものか(市職員)。

→当施設では身体拘束を実施した事実がなく、身体拘束に至っていない。平成30年から身体拘束の会議を行っているが、少なくともそれ以降身体拘束を実施した事実はないと思われる。もし身体拘束をするとなるとフローチャートがあり、それに基づいて実施し、その中で家族様への報告もしないといけなと思う。記録も毎日とらないといけなくなると思う(計画作成担当者)。

→以前、ベッドから転落のリスクのある方でマットレスをベッド脇に置かせてもらうことはあったが、拘束ではないと思う。4本柵も実施していない(ホーム長)。

→他の事業所と関わることも多く、実はグループホームが1番大変で、拘束をどうしても避けられないという話がある(市職員)。

→身体拘束の会議では実際に今の介護で拘束に値するものがあるかはもちろんだが、今後拘束をしないといけなくなる可能性はないかという点も話し合っている。それは身体拘束を予防するという考え方に近い(計画作成担当者)。

→行動を起こす時は、何かしらの前兆があるのでは。それを見逃さないようにしないといけな(地域代表者)。

→1回身体拘束を行うと、これに頼るのに気が引けるようにもなる。職員の負担にならないよう配慮してほしい(市職員)。

→当施設は夜勤が1名なので、夜間帯に騒ぎが起こるとどうにもいなくなる現実がある。そうになると拘束という選択を取らざる終えなくなることも今後でてくるかも(計画作成担当者)。

次回開催予定 令和5年11月14日(火)の13:30～に決まる。

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○